

PHN letters

「やめろっと言われても」さん、合格おめでとうございます！ 皆様の目標もぜひお寄せ下さい。

ありがとう！ やめろっと言われてもさん

3月号のPHNレターズに掲載させていただいた者です。念願の大学院合格を果たしました。受験に際し、1年間分の「保健師ジャーナル(保健婦雑誌)」を読むぞ！の宣言どおり、読みました。

「活用モデルの使い方」、なるほど、はじめて見るモデルもあって、不安。「写真で見る保健婦活動の歴史」、へえ、こんなことがあったのか。「現場で使える調査法」、大学院に入ったらもう一度読むぞ。「立川らく朝のヘルシートーク」もなかなか面白い、授業もこう面白くできないものか？ など、いっぱい吸収しました。受験にも、今後にもおおいに役立ったと思います。ありがとうございます。

そして、今回お礼を言いたい人たちがほかにいます。それは、私が担任していた学生たちです。私が「英語が自信ない」というと、昼休みに英単語や熟語の特訓をしてくれました。ホームルームを終えて教室を出ようとすると、「勉強、進んでいますか？」と声をかけてくれるし、受験前日には「頑張ってきてください！」と応援までしてくれました。

私は、13期生の学生に支えられたように思います。この支えがあったからこそ、合格できたと思いました。

「13期生のみんな、ありがとう！」2年次を、担任できないことが残念でたまりません。しかしこれからは、13期生の学生と競争です。平成18年3月、この学生

たちが本校を巣立つとき、一緒に卒業をめざす約束をしました。成績も公開予定なので、おちおちしてはいられません。4月から、しっかり学んで、地域看護のすばらしさを伝えていきたいと思います。もう一度、言わせてください。「13期生のみんな、ありがとう！ 負けませんよ。フフフ！」

プレゼントのお知らせ

本誌3月号の特集『行政経営』で保健現場はどう変わる？」でもご紹介しました「ダイコン一座」の漫画本シリーズに新作が加わりました。

すでに一座でも演じられている「意識のバリアフリーシリーズ③ 天使のパン屋さん」です。今回の作画は、松阪保健所の若い獣医師が担当されたとのこと。

発行を記念して、先着3名までにこの本をプレゼントいたします。

ご希望の方は、「5月号プレゼント希望」と明記のうえ、住所、氏名、電話番号(メールアドレス)

ドレス)、PHNレターズへのご意見・感想とともにこのコーナーまでお寄せください。



「PHN letters」では、みなさまのご意見・感想・ご批判をお待ちしております。こちらまでどしどしお寄せください。なお、掲載にあたっては薄謝(図書カード)を進呈いたします。

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3
FAX: 03-5804-0485
E-mail: hokenshi@igaku-shoin.co.jp
医学書院
『保健師ジャーナル』編集室 PHN letters係